

2017年3月18日

2016年度資源・環境関連材料部会 講演会開催報告

環境材料主査 石塚雅之

◎日時 平成28年10月21日(金) 13:00～19:00 (見学会参加の場合は10:30～)

◎講演会テーマ「ナノ粒子、ナノ構造の作製とその特性」

◎共催 公益社団法人 日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

◎協賛 日本化学会、応用物理学会、電気化学会、日本ファインセラミックス協会
日本粘土学会、エコマテリアルフォーラム、無機マテリアル学会
粉体粉末冶金協会、粉体工学会、粉体技術協会、ナノ学会

◎場所 東京都立産業技術研究センター 本部 イノベーションハブ

10:30～12:00 【見学会】(希望者のみ) 東京都立産業技術研究センター 本部

12:00～13:00 昼休み

13:00～13:20 開会の挨拶

13:20～14:10 「低次元ナノ構造デザインに基づくセラミックスの高次機能化」
関野 徹 (大阪大学)

14:10～15:00 「超臨界技術を使ったナノ粒子、ナノ構造の作製」
高見 誠一 (東北大学)

15:00～15:15 休憩

15:15～16:05 「無機ナノ粒子：設計の重要性と偶発の面白さ」
寺西 利治 (京都大学)

16:05～16:55 「ナノ粒子、ナノ構造の作製とその特性—形とサイズを制御した新素材・
ナノクリスタルの可能性—」 加藤 一実 (産業技術総合研究所)

16:55～17:00 閉会の挨拶

17:10～19:00 意見交換会(技術交流会)

◎参加費(講演予稿集、消費税こみ)

日本セラミックス協会、協賛学協会会員	5,000円
非会員	8,000円
学生	2,000円
意見交換会	3,000円

◎定員 50名(講師4名含む)

◎開催結果 50名の参加があり盛況な会となった。自分の研究に近い内容であったので参考になったとの声が多く寄せられており、テーマや講師の選定がニーズにマッチしたものと思われる。また、テーマがまとまっていたので効率よく情報をえられたとの意見もあった。全体の運営としては満足のものであったと思われる。一方で質疑応答の時間が短かったとの意見があり、反省材料である。

◎アンケート結果

参加者	(今回2016年東京)		参考: 前回(2014年名古屋)	
企業	28人	56%	22人	59%
大学	9人	18%	10人	27%
公設研	7人	14%	4人	11%
学生	6人	12%	1人	3%
計	50人		37人	
有効回答数	38/50			

(以下、複数回答とした)

- 講演会を知った手段

日本セラミックス協会会告欄	0	日本セラミックス協会ホームページ	7
日本セラミックス協会からの配信メール	8	協賛学協会の会告等	5
ご所属部署内の回覧など	8	知り合い	5
その他(メルマガ等)	3		
- 参加のご判断で重要視すること

参加費	5	開催場所	7	講演会の主題	21
講師	13	講演題目・内容	32		
- 今回の講演会に満足されましたか

大変満足	16	満足	18	どちらかといえば満足	4
どちらかといえば不満	0	不満	0		

満足度に関する感想

- 最新の研究内容を解説いただき、今後の目標とすべき方向性に関する指針が得られた。
- ナノ粒子の合成において前駆体の選択が重要であることがよくわかりました。
- 講師のみなさんが素晴らしかった
- 特に関野先生と加藤先生の講演内容は非常に興味深くぜひ実用化までつなげていただきたいです。
- 作製やプロセスなど興味深いお話を聞くことができました。
- 非常に技術レベルの高い講演であり有意義であった
- テーマにあった講演だったのでナノ粒子関連の技術を効率よく入手できた
- 今回は自分の研究にかなり近かったのととても面白かった
- 自分の研究に関する内容があったためよかった
- いろいろな視点でナノ粒子合成の話をきくことができ参考になった。
- ナノ粒子のなかでも特に金ナノ粒子(無機分子)の特性(プラズモン)についてより知りたかったです。
- 内容は満足しているがもう少しプロセスよりの話も聞きたかった
- 構造まで踏み込んだ講義を拝聴できた
- ナノ粒子の制御方法について知見が得られました。非常に高度に制御されていることがわかりました。
- ナノ粒子の合成に関し興味深く聞かせていただきました

今後取り上げてもらいたい主題

- 今日のような材料の産業化の事例についても歓迎です。
- 薄膜形成の発光素子関連、微細加工
- 無機薄膜の作製について最新の研究を知りたい(特にスパッタなどの代替となるような塗布法についても知りたいです。)
- センサー ・光触媒
- 企業側からの環境関連材料の技術紹介と問題点 ・環境材料における企業のとりくみ
- ナノ粒子を応用したデバイス等の開発実績について
- 詳細なプロセスの話 ・作製に関する内容がもっと多いとよかった

その他

- テーマがまとまっていてよかったです
- 質疑応答の時間を長めにとるほうが良い

以上